朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

Asahi

ASAHI University News Letter

vol.109
May 2017
発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 入試広報部

「健康スポーツ科学科」を開設

開設記念のテープカット（写真左から藤本次良保健医療学部長、棚橋敏明瑞穂市長、宮田淳理事長、古屋圭司衆議院議員、大友克之学長）

朝日大学では、2017年4月保健医療学部に健康スポーツ科学科を開設いたしました。
健康科学・スポーツ科学の専門的知識を修得し、社会人としての豊かな学識と社会的技量を身に付け、高い倫理観と豊かな人間性・国際性を備えた社会に貢献できる人材の育成を目指します。

Japan Institution for Higher Education Evaluation
JIHEE since 2004
II UNIVERSITY 2016

朝日大学
http://www.asahi-u.ac.jp

厳粛に入学式を挙行

入学生代表の阪本ほのかさん（健康スポーツ科学科）が
「建学の精神」遵守を誓う

キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月3日（月）、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールにおいて2017年度朝日大学入学式（春季）が厳粛に挙行されました。朝日大学と歯科衛生士専門学校との合同入学式では、新入生から新たな気持ちを胸に入学の宣誓が行われました。

入学式式典では、学部、大学院、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生707名が、大友克之学長並びに磯﨑篤則専門学校長からの「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせました。

大友学長から「本学の建学の精神に立脚し、これからの人生において自分自身が社会にどのように参画していくかをしっかりと考え、日々研鑽を積み、強い自信と誇りを持って、この学び舎で学んでいただきたい。そして日本再生の原動力となっていただきたい。入学生の皆さんこそが、朝日大学の未来であり、希望・夢なのです」との告辞がありました。

これに対し、入学生を代表して保健医療学部健康スポーツ科学科の阪本ほのかさん（奈良県立榛生昇陽高等学校出身）から、「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われました。

理事長から祝辞

宮田理事長から激励の言葉が述べられる

続いて挨拶に立った宮田淳理事長からは、「これからの学生生活では、資格取得やスポーツ活動に取り組むこと、国家試験合格に向けて勉学に励むことなど、文武両道の精神でそれぞれの夢や目標の実現に向け努力してください。朝日大学には、海外研修、インターンシップ、ボランティアなど、みなさんがそれぞれ抱く夢を実現するためのプログラムが用意されています。朝日大学は、そのような学生を教職員一同、全力でサポートします」と新入生たちへ激励の言葉（祝辞）が述べられました。

桜開花のもとで入学式

国際色豊かな式典

今年は、県内外関係機関より次の来賓の方々をお迎えしました。

明海大学　学長	安井　利一　様
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校　歯学部長	Paul H. Krebsbach 先生
瑞穂市　市長	棚橋　敏明　様
岐阜県歯科医師会　会長	阿部　義和　様
岐阜県経済同友会　筆頭代表幹事	中村　正　様
岐阜県看護協会　会長	石山　光枝　様
岐阜県弁護士会　副会長	和田　恵　様
岐阜県体育協会　専務理事	柴田　益孝　様
岐阜県商工会議所連合会　専務理事	山田　英治　様
岐阜県歯科衛生士会　会長	野々垣 静子　様
岐阜県立岐阜商業高等学校　校長	林田　仁 先生
岐阜県立大垣商業高等学校　教頭	片桐　郁至 先生

カリフォルニア大学ロサンゼルス校の
クレブスバック歯学部長から祝辞をいただく

式典には本学の建学の精神を反映し、海外交流校であるカリフォルニア大学ロサンゼルス校より歯学部教員2名とメキシコ州立自治大学より客員教員2名が参列、英語による祝辞が述べられ国際色豊かな式典となりました。

ウエルカムパフォーマンス

また、式典終了後には、一転趣向を変えて在学生が「ウエルカムパフォーマンス」を披露。公式戦用ユニフォームなどに身を包んだ先輩たちから熱いメッセージが送られ、式場の興奮は頂点に達しました。

在学生によるウエルカムパフォーマンス

保健医療学部 健康スポーツ科学科を開設

本年4月に新たに開設される保健医療学部健康スポーツ科学科（定員120名、修業年限4年）の開設記念式典が穂積キャンパスで挙行され、古屋圭司衆議院議員様、古田肇岐阜県知事様、棚橋敏明瑞穂市長様、村瀬幸雄岐阜県商工会議所連合会会長・十六銀行頭取様、高井昌史（株）紀伊國屋書店代表取締役社長様、岐阜県内の高等学校校長をはじめとする教育関係者ほか、学内外から約300名の出席をいただきました。その後、祝賀会が開催され保健医療学部健康スポーツ科学科の開設を盛大にお祝いしました。

古田岐阜県知事から祝辞が述べられる

祝賀会で健康スポーツ科学科の開設を祝う

みんなで「ミナモ体操」

祝賀会に先立ち行われた開設記念テープカットでは、竹島伸生学科長から健康スポーツ科学科の概要説明が行われました。

また、スピードスケートショートトラックでオリンピック3大会出場の経験を有する（株）スポーツビス所属の勅使川原郁恵氏からは、2012年岐阜国体に向け創作された「ミナモ体操」をマスコットキャラクターのミナモとともに披露いただき祝賀会場を盛り上げていただきました。

竹島学科長が概要を説明

参加者みんなで「ミナモ体操」

盛大に開設を祝う

祝賀会では、宮田淳理事長から「建学の精神に立脚し、保健医療学部健康スポーツ科学科の開設を迎え、国際未来社会と地域社会へのより一層の貢献に努めていきたい」と新学科開設の挨拶がありました。

古屋衆議院議員から祝辞が述べられる

続いて来賓を代表いただき、古田岐阜県知事様、古屋衆議院議員様、棚橋瑞穂市長様からは「超高齢化社会を向かえ、いつまでも生き生きと元気で過ごせるよう健康寿命を伸ばすことが大切となる今日において、地元朝日大学に健康スポーツ科学科が開設されたことは瑞穂市をはじめ地域社会並びに岐阜県にとって誠に喜ばしいことである」との祝辞をいただきました。

ちょきん（貯筋）のすすめ

健康スポーツ科学科の開設を記念した講演会が6号館大講義教室で開催されました。

同学科設置準備室の山本英弘教授（経営学部）が講師を務め「ちょきん（貯筋）のすすめ －寝たきり老人にならないために－」と題し、加齢に負けずいつまでも元気で過ごしたり健康寿命を伸ばすためには、手軽な運動を続け筋力をつける「貯筋」が重要との秘訣が語られました。

また、勅使川原氏からは、健康を維持するためのトレーニング方法を山本先生とともに披露いただきました。

勅使川原氏がトレーニング方法を山本先生とともに披露

OPEN CAMPUS 2017

歯　学　部

6月10日（土）※・7月27日（木）・8月17日（木）　10:00～15:00 ※6月10日のみ14:00～16:00

入試説明、実習体験（7・8月）、模擬授業、個別相談などを開催。歯学部生の一日を体験できます。

法　学　部　／　経営学部　／　保健医療学部

6月11日（日）・7月30日（日）・8月20日（日）　13:00～16:00

実習体験、模擬授業、入試・奨学金説明、在学生との懇談などを開催。各学部の特長がよく分かるプログラムです。

詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

名誉教授称号授与

朝日大学名誉教授　柴山宮惠子氏

本年3月退職を迎えられた柴山宮惠子氏（経営学部）に2017年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

このたびの授与は、本学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。

海外の歯学部学生を受け入れ

活発な意見・情報交換

本学と交流協定を結んでいるアラバマ大学バーミングハム校、テキサス大学サンアントニオ校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の教員と学生たちが本学歯学部での海外研修のため相次いで来日しました。

海外の歯学部学生たちは、藤原周国際交流委員長から、日本における歯学教育の現状や日本文化に関する講義を受け、穂積キャンパス附属病院で日本の歯科医療の現場を見学、アメリカにおける医療システムや機器との違いなどについて活発な意見・情報交換を行いました。宮田淳理事長主催による歓迎会では、理事長から「修了証書」を一人ひとりが受領。その後のパーティーでは、本学から海外研修経験のある学生や関係教職員との交流を深めていました。

藤原先生の講義を受講

日本の中学生や高校生と交流

また、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の学生たちは、穂積キャンパス6号館講義室で穂積中学校、岐阜県立各務原高等学校、帝京大学可児高等学校の生徒らと相互にプレゼンテーションを披露したり、6号館食堂で生徒らとランチタイムを過ごし、ユーモアを交えた英語と日本語で交流。日本での有意義な海外研修となったようでした。

ランチタイムで中学生や高校生と交流

「医療と健康」をテーマに公開講座

美濃加茂市生涯学習センターで「医療と健康 －あなたの身近な話題から－」をテーマにかかげた「第8回朝日大学公開講座」が木沢記念病院の協力を得て開催され、地域住民ら約200名が熱心に受講しました。

同公開講座は、歯科医学・歯科衛生学の分野で高度な教育研究及び人材育成を行う朝日大学と、高度・先進技術で中濃地区の医療を牽引する木沢記念病院が有する専門性とノウハウを融合させ、市民の健康増進と生涯学習の振興をはかることを目的とし毎年開催されています。

木沢記念病院横山先生から「脳のお話」を聞く

「脳のお話 －ちょっと忘れっぽくなったなと思ったら－」
木沢記念病院脳神経外科部長　横山　和俊 先生

「歯科訪問診療」　朝日大学歯学部教授　藤原　周 先生

「健口 －いつまでも口から食べたい－」
朝日大学歯科衛生士専門学校教員　中嶋　さつき 先生

岐阜県弁護士会と連携

本学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との第9回定例懇談会が開催され、成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われました。

岐阜県弁護士会との定例懇談会

懇談会では、2016年度成果報告として、ジュニア・ロースクール、法教育作文コンクール市民講座「死刑を考える」などの実施状況が報告され、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくとともに、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力をはかっていくことが確認されました。

また、地域社会における「知の拠点」を目指し、教育課程の改善に資することを目的とし「法学部及び大学院法学研究科カリキュラム・シラバス」に関する意見交換も実施されました。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結されています。

FD･SD研修会を開催

穂積キャンパス5号館講義室で、FD活動推進委員会（委員長：森下伊三男副学長）主催によるFD・SD研修会が開催され、教職員約150名が参加しました。

名桜大学国際学群経営情報教育研究学系教授でリベラルアーツ機構長の木村堅一先生を講師にお迎えした研修会では、「名桜大学における学生支援・学習支援とリベラルアーツ機構の取り組み」と題し、特色ある名桜大学（沖縄県名護市の公立大学）の学生支援と教育改革について講演をいただきました。

木村先生が名桜大学の学生支援・学習支援を語る

受講した教職員からは、今後の学生指導や支援に役立てようと質疑応答が行われ、実りある研修会となりました。

「単位互換の覚書」を締結

また、名桜大学と朝日大学とは、すでに締結している「学術交流及び連携に関する包括協定」に基づき、両大学の学生が相互の大学の授業科目を履修し単位修得することを認める「単位互換の覚書」を新たに締結しました。

リスクマネジメント研修会

村上記念病院で「リスクマネジメント研修会」が開催されました。

「医療現場でのトラブル対処法」と題した研修会では、岐阜中警察署から講師をお招きし、「迷惑行為とは何か、またその対策や回避方法」についての講義、「法的措置が取られる場合の事例 －記録化、証拠化の重要性－」について解説をいただきました。

また、今回は「護身術」の実技を体験。声を出したり、前に出て相手を裁くセルフディフェンス、手首、胸ぐらを捕まれた場合の逃げ方、サスマタの使い方など実演を交え指導をいただきました。

講師の指導のもと、真剣に取り組む中にも笑顔が見られ、楽しく有意義な研修会となりました。

「護身術」を体験

指導者養成講座を開講

マーケティング指導者養成講座

マーケティング研究所では、岐阜県商業教育研究会と共同開催で「第11回マーケティング指導者養成講座：地域連携編」を穂積キャンパス6号館講義室で開催。高校教諭、本学の教員や学生ら約20名が養成講座を受講しました。

凸版印刷（株）中部事業部ビジネスイノベーション本部新事業開発部課長で地域活性化プロデューサーの村瀬豊明氏を講師にお招きした講座では、「地域づくりの連携施策とコミュニケーションデザイン」をテーマに、地域連携に数多くチャレンジする中で、連携相手、連携の仕方などのノウハウが蓄積されることを学びました。

講演会終了後に開催された交流懇親会では活発な質疑応答がなされ、実りある養成講座となりました。

「地域連携」を語る村瀬先生

オープンスクールを開講

本学穂積キャンパスに山県高等学校、岐阜商業高等学校、一宮商業高等学校の生徒が来学しました。

今回の訪問は、高等学校における「体験学習、課外学習」の授業の一環として「卒業後の進路選択」の参考となるよう大学、短大、専門学校等を訪問しているものです。

大学生を体験

生徒たちは、「地元を救うビジネスの面白さ」、「情報技術がもたらす未来」、「日商簿記2級を取得する意義」などのミニ講義を受講、また、大学で学ぶことの意義や学生生活の過ごし方などを映像で確認すると共に、English Language Salon、模擬法廷や図書館などのキャンパス見学を行いました。

ミニ講義では真剣にメモをとり、キャンパス見学での充実した学生アメニティーの数々に目を輝かせていた生徒たちは、「一日大学生」を朝日大学で満喫していました。

法学部の下條芳明教授が
「クイズで考えてみよう日本国憲法」を講義

新入生学外研修を実施

寝食を共に研修

歯学部では、岐阜都ホテル（岐阜市）において1泊2日の宿泊研修を行いました。新入生たちは歯科医師をめざす学生の心構えや今後の学修方法などを学び、グループ研修やレクリエーションを通じて新しい友達、教員との交流を深めました。

大学生としての自覚を認識

また、法学科・経営学科・健康スポーツ科学科では、「大学の歴史や大学で学ぶ意義」を学ぶ授業科目「建学の精神と社会生活」のフィールドワークとして徳山ダムや長良川河口堰などをグループに分かれ見学し、岐阜の歴史や地域性を学ぶとともに、新しい友達や教員との交流を深めました。

グループごとに配置された教員たちは、見学や散策を通じ親睦を深めながら大学生としての自覚をもつことの大切さや自己のキャリア形成のあり方などについて説明し、新入生たちの大学生活に対する不安感を取り除いていました。

長良川河口堰で岐阜の地域性を学ぶ

「万引き防止ポスター」作成

法学部学生で組織された防犯ボランティア団体「めぐる」が、岐阜県防犯協会および岐阜県警察本部からの依頼を受け「万引き防止啓発ポスター」を作成しました。

ポスターの贈呈式が行われた地元の総合スーパーバロー市橋店では、（株）バローホールディングスの篠花明常務取締役、岐阜県防犯協会の田近恭介専務理事、岐阜県警察本部生活安全課の大江康成課長、岐阜南警察署の佐名康太署長らと共に、「めぐる」のメンバー10名がさっそく「万引き防止啓発活動」を行いました。

「万引き防止ポスター」の贈呈式

防犯団体に助成金

防犯ボランティア団体「めぐる」に、あいおいニッセイ同和損害保険岐阜支店から活動助成金として5万円が贈呈されました。

東海4県では大学の活動に助成金を贈るのは初めてとのこと。「めぐる」のメンバーたちは「助成金はとても励みになる。これまで以上に地域社会の防犯活動に頑張りたい」と今後の抱負を語っていました。

ベトナムと韓国で海外研修

ベトナムの日本企業で学ぶ

法学部と経営学部の学生短期海外研修がベトナム（ホーチミン市）で実施されました。

本学客員教授で「産学連携授業」を担当いただいている濃飛倉庫運輸（株）コンプライアンス部長兼AEO管理室長の田村兼一先生と田村明教授（経営学部）とともに海外研修に参加した学生たちは、物流・倉庫の濃飛ベトナムロジスティクス本社など多数の企業を訪問し、日本企業のベトナム進出の目的や課題を学びました。

ベトナムでプラスティック成形を行うADMS社の工場を見学

韓国では流通機能を学ぶ

経営学部セイノー産学連携短期海外研修が韓国（釜山市）で実施されました。

土井義夫教授（経営学部）と学生たちは、韓国で企業活動を展開しているセイノーロジックス、韓国住友商事釜山支店などを訪問し、海外における流通機能を総合的に学ぶとともに、日系企業で働く社員の方々とのディスカッションを通じ「異文化理解、海外経済」などを実体験しました。

「難病図書フェアー」を開催

穂積キャンパスの図書館本館では、難病に関する書籍を集めた「難病図書フェアー」を開催。同フェアーは「世界希少・難治性疾患の日（2月最終日）」にちなみ、岐阜県内の公共図書館と大学図書館の計17館で開かれました。

「難病が具体的にどのようなものか知らない人がたくさんいることから、地域で難病に対する理解が進むきっかけとなれば」との趣旨で開催された同フェアーでは、展示用書架の図書の貸し出しも行われ、来館者が手にとって本の内容を確認していました。

図書館本館の難病に関する本を集めたコーナー

将来のリーダーを育成

本学恒例の行事である「リーダーズキャンプ」が羽島市のかんぽの宿で1泊2日の日程で開催され、学生及び教職員約60名が参加しました。

リーダーズキャンプは、各種団体（学友会、体育会、大学祭実行委員会、学友会中央協議会）の学生代表が集い毎年宿泊形式で行われており、リーダーシップの育成、クラブ・同好会活動の活性化、参加者相互の親睦を深めることを目的としています。

両日ともに分刻みのタイムスケジュールの中で、他己紹介、グループ討議、フリーディスカッション等のセッションを次々とこなした学生たちは、短期間の間に将来のリーダーとしての素養を身に付けた様子でした。

参加学生たちのキャンパス内での活躍が期待されます。

他己紹介でみんなの関心をつかむ

心肺蘇生法を学ぶ

また、今回のリーダーズキャンプでは、瑞穂消防署の協力を得て「救命救急講習会」も開催されました。参加者たちは応急手当の基礎知識、AEDを利用した心肺蘇生法などを熱心に学びました。

心肺蘇生法を学ぶ

第110回 歯科医師国家試験

「第110回歯科医師国家試験」の合格発表がありました。

本学歯学部の新卒者の合格率は65.8%（合格者50名／受験者76名）で、私立歯科大学17校中第12位という厳しい結果でした。第100回以降、合否判定が絶対評価から相対評価へと移行し、毎年2,300～2,400名程度の合格者数で推移していましたが、昨年度は合格者総数が1,973名、今年度の第110回は1,983名となり、全国の合格率も65%の狭き門となりました。

この結果を受け江尻貞一新学部長は「全国の大学が教育改革に着手している。本学もさらなる改革が求められている。1年生から知識を定着させていくことが大事」と語りました。歯学部では5月に第110回歯科医師国家試験結果を振り返る教員研修会が開催されます。

著書紹介

『ケースで学ぶ憲法ナビ』

刊行された本を手にする小林先生

法学部の小林祐紀講師が編者の一人を務めたテキスト『ケースで学ぶ憲法ナビ』（岐阜市の出版社：（株）みらい）が刊行されました。同テキストは、大学の一般教養科目として初めて憲法を学ぶ学生を対象としたテキストです。

「憲法」の教科書はすでに多くのものが書店に並んでいますが、教養科目として学ぶ学生にとっては荷が重いものばかりで、学ぶ側の学生からすれば興味を持てない内容のものが多かったとの反省から、本書では私たちの身のまわりの生活で起こりうる事例を各項目に設け、その中に潜んでいる憲法問題を素材にしながら、憲法の基本となるポイントを学習できる構成とするなどの工夫がなされているとのことです。

「私たち市民一人ひとりにとって日々の生活を守る大切な憲法、堅苦しいとか自分とは関係ないと感じていた憲法が、ちょっとでも身近なものになれば」との小林先生の熱い思いが込められた著書です。

体育会総会開催

瑞穂キャンパス体育館で、学生や指導者ら約800名が集い体育会総会が開催されました。

大友克之学長（前会長）により2002年に10種目でスタート、2012年度に会計研究部が加わり12の競技種目（別に2種目の強化指定あり）へと成長した体育会は設立15年が経過し、数多くの全日本チャンピオンや公認会計士を輩出するなど国内外でめざましい活躍を遂げています。

全国に朝日大学の名を

総会で山本英弘会長は、「体育会のモットーである文武両道を旨とし、これまでの輝かしい伝統を引き継ぐとともに、より発展させ全国に朝日大学体育会の名を広めていこう」と熱く語りました。

体育会総会で挨拶する山本英弘会長

NEWS

栄えある「宮田賞」受賞

宮田賞を授与される受賞者

2016年度卒業式（穂積キャンパス10周年記念館大ホール）で、「宮田賞」の授与が行われました。

本学の創立者である宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名誉を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者（6名）には「表彰状」と「記念プレート」が大友克之学長から贈呈されました。

受賞者たちの今後の活躍が大いに期待されます。

宮田賞受賞者

法学部	法学科	松尾 聖矢
経営学部	経営学科	浅野 将孝
	情報管理学科	高西祥 ニコール
	ビジネス企画学科	鳥越 敬太　渡邊 翔太郎
歯学部	歯学科	香西 慎一

羽ばたけ建学の精神を胸に

アラバマ大学バーミングハム校
ピーター・ウェイト教授から祝辞をいただく

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学長告辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られ、姉妹校である明海大学安井利一学長、アラバマ大学バーミングハム校のピーター・ウェイト教授からそれぞれ祝辞をいただきました。

式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳粛であった会場内がたちまち暖かい雰囲気に包まれました。

式典後の胴上げ

卒業記念パーティーで恩師や学友と歓談

「大学機関別認証評価」を受審

朝日大学は、2016年度に（財）日本高等教育評価機構による「大学機関別認証評価」を受審。その結果、評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定されました。

本学では、今回の評価結果を踏まえ、建学の精神に基づく教育、研究、社会貢献活動等のさらなる充実に努めることといたします。

JIHEE
認定証
Certificate of Accreditation
朝日大学 殿
ASAHI UNIVERSITY
貴大学は平成28年度大学機関別認証評価の結果 本評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する
This is to certify that the above university has demonstrated satisfactory compliance with the standards of the Japan Institution for Higher Education Evaluation.
公益財団法人 日本高等教育評価機構
理事長 黒田 壽二

大学評価基準に適合の認定証

法教育作文コンクール

「第6回法教育に関する作文コンクール」（主催:朝日大学、岐阜法教育研究会）の表彰式が、穂積キャンパス5号館講義室において行われました。

小・中・高校生を対象とする同コンクールには167件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品がそれぞれ賞を受賞しました。最優秀作品に選ばれた受賞者は法教育に対する自分たちの思いや体験をつづった作文を朗読披露。受賞者へのインタビューでは、「今回の作文応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかった」との声が聞かれました。

法教育作文コンクールの受賞者